松田町第７次総合計画策定に向けた地域別タウンミーティング

チルドレンファースト・ネクスト
～子ども・子育て大応援～

Ⅰ　町の人口と財政事情
　（人口推移・財政状況・ふるさと納税）
Ⅱ　チルドレンファースト・ネクスト
　戦略１「コミュニティをさらに活性化する仕組みづくり」プロジェクト
　戦略２「新松田駅・松田駅周辺のまちづくり」プロジェクト
　戦略３「地域資源のブランド化」プロジェクト
　戦略４「次代の育成・女性活躍・高齢者活躍の場づくり」プロジェクト
Ⅲ　Sustainable Development Goals（SDGs）

松田町は、"SDGs未来都市"に選定されています

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です

Ⅰ 町の人口と財政事情

（１）人口推移

1. 平成7年（ピーク）から30年間で3,047人減少！

出典：国勢調査（人口統計調査）

《人口推移》

2. 人口構成はピラミッドからツボ型へ

出典：住民基本台帳人口

《人口推移》

3. 自治会別人口推移

出典：住民基本台帳人口（各年10月時点）

自治会	平成２年	平成７年		平成12年		平成17年		平成22年		平成27年		令和２年		令和７年６月１日	
	実数	実数	増減数	実数	増減数	実数	増減数	実数	増減数	実数	増減数	実数	増減数	実数	増減数
町屋	1,532	1,583	51	1,779	196	1,157	53	1,192	35	1,258	66	1,479	221	1,521	42
店屋場						675		692	17	781	89	863	82	860	-3
神山	1,029	1,031	2	1,074	43	1,012	-62	943	-69	870	-73	844	-26	776	-68
茶屋	1,849	1,831	-18	1,641	-190	386	-172	360	-26	328	-32	278	-50	254	-24
河内						622		551	-71	510	-41	529	19	499	-30
中丸						461		444	-17	404	-40	363	-41	319	-44
中央	341	306	-35	278	-28	250	-28	218	-32	230	12	206	-24	203	-3
仲町	568	543	-25	472	-71	415	-57	378	-37	329	-49	328	-1	303	-25
新松田	269	234	-35	261	27	225	-36	218	-7	181	-37	160	-21	149	-11
谷戸	447	416	-31	383	-33	360	-23	328	-32	310	-18	274	-36	237	-37
中沢	259	229	-30	211	-18	172	-39	164	-8	151	-13	116	-35	120	4
沢尻	851	884	33	911	27	888	-23	815	-73	825	10	783	-42	759	-24
谷津	350	345	-5	350	5	358	8	372	14	400	28	382	-18	312	-70
宮前	330	327	-3	292	-35	323	31	261	-62	258	-3	234	-24	227	-7
かなん沢	470	466	-4	499	33	517	18	493	-24	433	-60	419	-14	392	-27
中里	680	698	18	664	-34	601	-63	541	-60	495	-46	469	-26	457	-12
城山	877	878	1	846	-32	901	55	943	42	902	-41	824	-78	768	-56
仲町屋	971	877	-94	761	-116	715	-46	649	-66	629	-20	589	-40	531	-58
松田地区	10,823	10,648	-175	10,422	-226	10,038	-384	9,562	-476	9,294	-268	9,140	-154	8,687	-453
萱沼	208	211	3	216	5	183	-33	147	-36	136	-11	105	-31	100	-5
弥勒寺	684	937	253	964	27	924	-40	858	-66	732	-126	623	-109	563	-60
中山	69	51	-18	43	-8	40	-3	35	-5	31	-4	27	-4	24	-3
土佐原	82	93	11	101	8	91	-10	73	-18	58	-15	47	-11	40	-7
宇津茂	248	316	68	323	7	306	-17	271	-35	241	-30	203	-38	185	-18
大寺宮地	277	292	15	296	4	277	-19	252	-25	235	-17	202	-33	191	-11
虫沢田代	409	478	69	481	3	438	-43	401	-37	352	-49	305	-47	260	-45
湯の沢	356	365	9	383	18	385	2	347	-38	337	-10	324	-13	313	-11
寄地区	2,333	2,743	410	2,807	64	2,644	-163	2,384	-260	2,122	-262	1,836	-286	1,676	-160
町全体	13,156	13,391	235	13,229	-162	12,682	-547	11,946	-736	11,416	-530	10,976	-440	10,363	-613

《人口推移》

4. 令和22年度の人口は10,000人を目標

《人口推移》

★年齢別の人口構成（人口推計のまま推移）

高齢者1人を支える生産年齢人口の人数	6.6人	5.6人	4.6人	3.7人	3.0人	2.3人	1.9人	1.7人	1.6人	1.4人	1.3人	1.2人

★年齢別の人口構成（目標人口を達成した場合）

年少人口	20.0%	17.6%	16.1%	14.1%	12.3%	10.7%	10.0%	9.5%	10.0%	10.6%	10.7%	11.0%
生産年齢人口	69.4%	70.0%	68.8%	67.8%	65.7%	62.4%	58.7%	55.6%	55.8%	54.8%	54.5%	54.0%
老年人口	10.5%	12.4%	15.1%	18.1%	21.9%	26.7%	31.3%	33.7%	34.2%	34.6%	34.8%	35.0%
高齢者1人を支える生産人口の人数	6.6人	5.6人	4.6人	3.7人	3.0人	2.3人	1.9人	1.7人	1.6人	1.6人	1.6人	1.5人

Ⅰ 町の人口と財政事情

（２）財政状況

1. 扶助費の伸びを踏まえた財政運営を！

高齢者福祉や児童福祉といった『命』や『生活』に直結する扶助費が増加！

その結果 → 義務的経費（削減が困難な経費）の負担が年々大きく

※今後は、更にこの傾向が加速するため、投資的経費（将来に残る施設等を整備する経費）の捻出が課題

※決算統計（普通会計ベース）による

①公債費

借入金を返済する経費

▸令和5年度は、前年比3.2%の増

②人件費

職員給料や議員報酬

▸近年はほぼ横ばい

▸令和5年度は前年比1.8%の増

③扶助費

社会保障制度の一環で、高齢者・児童・障がい者などに対して町が行う支援の経費（物価高騰対応関連給付金は除く）▸10年前に比べると41.8%の増

※各比率は千円単位の数値を基に算出

《財政状況》

2. 投資的経費は補助金等を最大限活用！

義務的経費の増加により、投資的経費に使える一般財源は限定的に！
投資的事業（経費）は、知恵とアイディアで補助金などを有効活用して推進！

①一般財源

地方税や地方交付税といった使途に制限のない財源（町が自主的に使い方を決定可能）

※義務的経費が増加
⇒投資的経費に使える一般財源が限定的に

②特定財源

国や県の支出金、地方債など、使い道が特定されている財源

※知恵とアイディアで、デジタル田園都市国家構想交付金などの補助金（国・県等）や交付税措置のある起債（補償のある借入）などを獲得
⇒必要な投資を抑制することなく実施！

★知恵とアイディアで獲得した直近3カ年の主な補助金等を次ページで紹介

《財政状況》

3. 知恵とアイディアで獲得した主な補助金等 （令和7年6月定例会後現在）

（令和7年度は“獲得を目指すもの”を含めて掲載）

令和7年度（予算額）【合計：５３３，８４４千円】

（1）新しい地方経済・生活環境創生交付金　188，026千円

（2）学校施設環境改善交付金（寄小学校改修）　57，659千円 《繰越事業》

（松田中学校改修）18，000千円 《繰越事業》

（3）自治基盤強化総合補助金　45，778千円

（4）デジタル田園都市国家構想交付金（旧寄中学校改修）39，010千円《繰越事業》

（5）空調設備整備臨時特例交付金　（松田小学校改修）17，631千円《繰越事業》

（6）スポーツ振興くじ助成金25，899千円　（7）スポーツ振興費補助金　8，117千円　など

《財政状況》

令和6年度（決算額）【合計：３４０，２９５千円】

（1）学校施設環境改善交付金（松田中学校改修）42，704千円 《繰越事業》
　　（松田幼稚園改修）32，522千円 《繰越事業》
（2）スポーツ振興くじ助成金　42，270千円
（3）二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金　41，617千円
（4）デジタル田園都市国家構想交付金　26，153千円
（5）自治基盤強化総合補助金　47，737千円　など

令和5年度（決算額）【合計：２９４，３３６千円】

（1）学校施設環境改善交付金（松田中学校改修分）《繰越事業》 83，827千円
（2）デジタル田園都市国家構想交付金　36，551千円
（3）自治基盤強化総合補助金　42，840千円
（4）二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金　31，838千円
（5）デジタル基盤改革支援補助金　3，344千円
（6）学校保健特別対策事業費補助金　1，231千円
（7）地域計画策定事業補助金　475千円　など

《財政状況》

4. 将来の支出に備えるため財政基盤を強化！

目的をもった基金を計画的に積み立て、将来に備えています

町の積立金の推移

【令和７年度末積立金見込額

総額＝２２億１２百万円

- 財政調整基金　9億5百万円
- 新松田駅周辺整備基金　10億10百万円
- 教育施設整備基金　20百万円
- 公共施設等整備基金　1億84百万円　ほか

【令和６年度末積立金額】総額＝２４億３８百万円

●特定目的基金　（１０億７２百万円）

大規模公共施設の整備など、特定の目的を計画的に実施するため、使途を限定した積立金

例：教育施設整備基金（18百万円）
新松田駅周辺整備基金（7億58百万円）
公共施設等整備基金（2億26百万円）

○減債基金　（３２百万円）

将来の地方債償還（借金返済）に備えた積立金

○財政調整基金　（１３億３３百万円）

財源に余裕があるときに積み立て、不足するときに取り崩すことで、年度間の財源調整を行うための積立金

《財政状況》

5. 町債（地方債）現在高の推移は？

	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7（見込）
臨時財政対策債	24.5	25.6	26.4	26.8	27.1	27.1	26.8	26.5	26.0	24.4	22.4	20.5	18.3
一般会計分（臨財債除く）	14.3	13.1	12.3	11.2	10.9	14.5	16.7	20.6	29.7	31.2	31.3	31.4	36.5

町債（地方債）とは、主に建設事業への資金調達として、町が財政上必要とする資金を外部から調達することによって負担する債務で、その履行が一会計年度を超えて行われるものをいいます。

※例外として、地方財政計画上の通常収支の不足を補てんするために発行される臨時財政対策債（臨財債）などがあります。（臨時財政対策債の元利償還金相当額については、その全額が後年度地方交付税の基準財政需要額に算入）

《財政状況》

【参考】町債（地方債）現在高の将来推計は？（一般会計）

《財政状況》

6. 町債と町の資産を比較すると

資産は、松田小学校整備事業などの大型公共事業の実施や、財政調整基金をはじめとする基金への積み立てにより増加

資産とは、行政活動に役立つ土地・建物・現金など、後世に引き継ぐ町の財産のこと。

具体的には、庁舎、福祉施設、教育施設等の建物及び土地や、道路等のインフラ資産、現金預金、基金などのこと。

億円

	R3	R4	R5
町債の現在高（一般会計）	55.7	55.6	53.7
資産額	205.5	208.7	209.9
資産額（インフラ資産・基金を除く） 例）庁舎、小中学校や庁用車等	147.5	149.7	150.1
インフラ資産　例）道路や公園等	42.1	39.1	37.4
基金　例）財政調整基金や教育施設整備基金等	15.9	19.9	22.4

《財政状況》

7. 決算額と収支の推移は？

億円

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
歳入決算額	40.8	43.0	43.6	45.8	49.2	46.5	70.1	71.5	57.4	59.2	60.6
歳出決算額	38.9	40.0	41.0	42.8	47.4	44.1	66.3	66.3	52.8	54.2	55.5
実質収支	1.9	2.4	2.0	2.9	1.5	2.1	3.7	5.0	3.9	4.3	4.0

○<u>実質収支＝（実質的な）繰越金</u>

➡形式収支（歳入決算額から歳出決算額を差し引いたもの）から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた金額。

《財政状況》

8. 普通交付税の仕組み

R6歳入	
町税	1,532,894,783
地方譲与税	33,240,000
利子割交付金	693,000
配当割交付金	15,847,000
株式等譲渡所得割交付金	22,675,000
法人事業税交付金	26,195,000
地方消費税交付金	258,871,000
ゴルフ場利用税交付金	56,304,130
環境性能割交付金	7,738,000
交通安全対策特別交付金	1,364,000
地方特例交付金	55,348,000
普通交付税	1,380,307,000
臨時財政対策債	13,600,000
特別交付税	102,874,000
分担金及び負担金	30,397,666
使用料及び手数料	78,855,403
国庫支出金	736,518,249
県支出金	438,046,014
財産収入	44,173,538
寄附金	190,078,851
繰入金	179,529,871
繰越金	477,568,778
諸収入	162,542,981
町債	209,900,000
歳入　計	6,055,562,264

標準的な税収入見込額の７５％

※上段枠内の町税や税交付金等のR6見込値（理論値）に原則として75%（※ 譲与税等は100%）をかけて算出

基準財政需要額　2,919,310千円

－

基準財政収入額　1,539,003千円

※上記算出方法により算定

＝

普通交付税額（臨財債発行可能額を含む）　**1,393,907千円**

○臨時財政対策債

➡ 普通交付税額のうち、国の財源不足分を補うために発行する地方債。
その元利償還金は後年度の交付税に全額算入される。

○基準財政需要額

➡ 単位費用（法定）×人口×補正係数で算出されるもので、標準的な行政サービスを行うために必要とされる財政需要のこと。
実際の支出額によって増減するものではない。

○基準財政収入額

➡ 標準的な税収入の見込額に基準税率（７５％）をかけて算出する。
実際の収入見込額によって増減する。

《財政状況》

9. 町税と普通交付税の推移は？

億円

歳入	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
町税	15.7	15.6	16.4	15.6	15.9	15.6	15.7	15.4	15.6	15.3
普通交付税	7.4	8.1	7.7	7.5	8.1	9.1	12.1	12.0	12.6	13.8
臨財債	2.3	2.0	2.0	1.9	1.7	1.7	2.4	0.7	0.3	0.1
その他（国庫支出金など） ※松小・物価対策関連を除く	17.5	17.9	19.7	24.2	20.8	24.0	16.5	21.4	28.7	29.8
松田小学校整備事業　関連						5.8	20.1	5.1		
物価高騰対策　関連						13.9	4.8	2.8	2.0	1.5
合計	43.0	43.6	45.8	49.2	46.5	70.1	71.5	57.4	59.2	60.6

《財政状況》

10. 町の将来を見据えた財政推計

《財政状況》

Ⅰ 町の人口と財政事情

（３）ふるさと納税

1. 松田町のふるさと納税の推移

●令和６年度は１億8200万円余の寄附を受納

《ふるさと納税》

2. ふるさと納税には“企業版”も！

●制度紹介

『企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)』は、企業が自治体に寄附をすると税制上の優遇措置（最大９割）が受けられる制度。

令和２年７月からは、松田町でも本制度の活用が可能となり、これまで次のような寄附を受納！

（単位：円）

《ふるさと納税》

Ⅱ 第６次総合計画の主な事業を まちづくり戦略プロジェクトごとに紹介！

2023～後期アクション
プログラムがスタート！

「まちづくり戦略プロジェクト」は、第6次総合計画で設定した「まちの将来像」の実現に向けて、部門横断的に取り組むべきまちづくり戦略をプロジェクトとして位置づけ、2026年度までの4年間で重点的に取り組む事業を位置づけたものです。3つのまちづくりのテーマから、以下の4つの「まちづくり戦略プロジェクト」を設定しています。

まちの将来像 ： **いのち"育み"　未来へ"ツナグ"　進化"つづける"故郷**
－笑顔あふれる幸せのまち　松田－

テーマ① ： 「協働・連携協力」

テーマ② ： 「魅力づくり」

テーマ③ ： 「人づくり」

【戦略１】**コミュニティを さらに活性化する仕組みづくりプロジェクト**
【戦略２】**新松田駅・松田駅周辺のまちづくりプロジェクト**
【戦略３】**地域資源のブランド化プロジェクト**
【戦略４】**次代の育成・女性活躍・高齢者活躍の場づくりプロジェクト**

＋

後期４年間は
４つの戦略に
「チルドレン ファースト」
の理念をプラス！

チルドレンファースト・ネクスト

チルドレンファーストとは

「子どもから高齢者までが安心して暮らせるまち」の実現に向け、
①高齢者が子や孫たちと親子３世代で一緒に安心して暮らせること
②将来「ふるさと松田町で暮らしたい」と思う子どもたちが増えること
③若い世代が安心して子育てできること
を目標に据えたまちづくりに取り組んでいます！

令和７年度からは「**チルドレンファースト・ネクスト**」として、こども子育て環境の更なる充実を図ってまいります。

《チルドレンファースト・ネクスト》

こども・子育て応援宣言

松田町こども・子育て応援宣言

こどもは将来を担うかけがえのない存在であり、松田町の歴史と文化を守り歩んできた先人やお年寄りとともに、松田町の大切な宝物です。

そのこどもたちがふるさと松田へ愛着を持ち、夢や希望を抱き健やかに育つことは、私たち松田町民の希望です。

こどもを安心して産み育てることのできる環境をつくり、健康で心豊かなたくましい人に育てることは、わたしたち町民みんなの大切な使命であります。この取り組みをいっそう推進し、松田町は「安心して子育てしやすいまち」、「子育てが楽しくなるまち」として全国に拡がっていくことを目指します。

そのため、行政、町民がそれぞれの役割を自覚し、こども・子育て支援にいっそう力を注ぎ、こどもたちの声を聞きながら、「こどもたちに笑顔があふれ、子育てに喜びや幸せを感じるまち」、「地域全体でこども・子育てを支えるまち」を目指し、ここに「松田町こども・子育て応援宣言」をします。

～みんなの誓い～

一．安心してこどもを産み育てられる環境づくりを優先します。

一．こどもに笑顔があふれ、子育てに喜びや幸せを実感できる地域社会を目指します。

一．こどもたちの次の５つの権利を尊重します。

・生きる権利・育つ権利・守られる権利・参加する権利・愛される権利

令和7年4月1日　神奈川県松田町

松田町では、

「**こどもたちに笑顔があふれ、子育てに喜びや幸せを感じるまち**」、

「**地域全体でこども、子育てを支えるまち**」

を目指すため、

令和７年４月１日に、

「**松田町こども・子育て応援宣言**」

を行いました（県内自治体初）

《チルドレンファースト・ネクスト》

子育てに関する８つの「０(ゼロ)」政策

1　小児医療費助成事業　4,040万円

～18歳までの医療費負担 **0**（ゼロ）

※満18歳に達した日以後最初の３月31日まで

2　保育所運営事業　2億2,998万円

～就学前児童の兄弟、姉妹が同時に保育所等を利用している場合、３歳未満の第２子の利用者負担（保育料）を **0**（ゼロ）

～令和７年度は３～５歳児の給食費を保育所へ補助（1,300円／月）

3　子育て世帯支援事業　532万円

～０歳児に３万円、１～２歳児に３万円（年間おむつ代相当額負担 **0**（ゼロ））

4　保護者負担「０（ゼロ）」の幼稚園児送迎事業　578万円

～無償の送迎バスを運行し、通園児の園児の安全を確保します。
※町立幼稚園が対象（一部区域（徒歩圏内）は対象外）

5　英語教育推進事業　4,092万円

～小中学生を対象に英検受験料年１回全額補助「負担０（ゼロ）」
～外国語指導助手（ALT）５人によるグローバルな教育環境を提供
＜令和７年度新規＞中学生の英語力向上に向けたオンライン英会話授業を開始

6　学童保育運営事業　3,098万円

＜令和７年度新規＞学童保育の保護者負担を０（ゼロ）
～小学校１～６年の児童を対象
～希望する児童には英会話など学びの時間を提供
※延長保育分は無償化の対象外

7 給食費保護者負担軽減「負担０（ゼロ）」　4,173万円

＜令和７年度新規＞小中学校の給食費を無償化

～幼稚園は給食費の補助を拡大（1,300円／月）

8 いのち輝く未来社会のデザイン体験支援補助　110万円

～大阪・関西万博（2025日本国際博覧会）の

子ども入場チケット代金を無償化「負担０（ゼロ）」

「こども・子育て応援宣言」の普及に向けて、応援いただける企業等のパートナー制度を開始していく予定です。

町だけではなく、皆さまとの協働・連携のもと安心して暮らせるまちづくりを推進していきます。

Ⅱ 戦略１
コミュニティを
さらに活性化する仕組みづくり

【目的】

「情報共有」、「参加」、「協働・連携協力」の３つのまちづくりの基本原則をもとに、地域や多様な分野と連携しながら、町民とともにコミュニティの活性化に向けた具体的な取組みを推進し、地域コミュニティとテーマコミュニティの活性化を図るものです。

1．コミュニティ活動等を応援します！

○地域コミュニティ活動交付金

松田町における自治会活動の推進及び健全な運営の促進を図ることを目的として、地域コミュニティ活動交付金を26自治会全てに対して交付しています。

[交付金の構成]

①自治会運営推進費・・・・・・役員などの報酬手当や事務用品費等に係る経費への支援
②防災防犯活動費・・・・・・・防災倉庫内物品等、災害対策物品購入費に関する支援
③コミュニティ活動支援費・・・地域交流会等の各種イベント事業、各種研修の講師依頼、各保存会への支援等に係る経費への支援
災害対策事業や防犯ボランティア活動費など防災会活動に関する経費への支援

○交付金の交付状況 (令和７年度予算) ⇒ 交付総額９，５１３千円

○コミュニティ活動支援費の活用事例

・どんど焼き　・パークゴルフ大会　・運動会　・文化祭　・お花見会　・ＢＢＱ　・ウォークラリー
・同好会やクラブ活動（カラオケ、カーレット、ボウリング、ソフトボール）　・納涼祭　・防災関連研修会
・チャリティーバザー　・交流会（ふれあい会、お茶の間会）　・環境美化活動（施設清掃、草刈り、美化キャンペーン）

《戦略１》 コミュニティ活動

★希望される自治会へボッチャセットを配布します！

～スポーツによる交流のきっかけづくり～

　スポーツ推進委員と地区スポーツ員が連携し、誰でも楽しめる「ボッチャ」を普及することにより世代間、健常者、障がい者の隔てなく交流の機会を創出するため、必要とする自治会に物品の整備（配布）を行っています。

ボッチャ出前講座の様子
（城山地区にて）

配付自治会数：１２自治会

※ご希望のある自治会は、
　生涯学習推進課（電話83-7021）まで

ボッチャセット

2. コミュニティ等に関する情報共有のデジタル化！

○ SNS(LINEやTwitter)を活用した情報発信･情報共有

イベントや広報紙の発行等の町のお知らせをSNSで発信するほか、LINEでは道路の破損・故障など町の異常を通報できる「通報システム」を導入しています。

LINE友だち
登録はコチラ↑

○「すぐメールまつだ」による情報発信

皆さんの暮らしに欠かせない、防災、防犯情報などの安心・安全情報を、パソコン（PC）、携帯電話の電子メール機能を利用して発信します。

○ 学校－保護者間の連絡システム「すぐーる」の導入（令和7年度～）

教職員・保護者の負担軽減を図るため、新たに教育現場向け連絡システム「すぐーる」を導入します。これにより、保護者は、学校からのお知らせをスマートフォンで確認できるほか、欠席など学校への連絡についてもアプリ内の機能で簡単に報告することができるようになります。

3. 自治会配達の負担軽減を進めます！

　自治会役員さん等の負担を軽減し、担い手不足の解消に繋がるよう、引き続き、取組みを進めます。

○現在までの主な取組み

令和2年度　広報紙のうち、月に2回発行していた「おしらせ号」を「広報まつだ」に統合し月１回の発行へ。

令和3年度　配布や保存がしやすいよう、「広報まつだ」のサイズを5月号からA4版に変更。

令和4年度　令和4年10月号にて、ポスティング業者による全戸配布を試験的に実施し、その効果を検証しました。

令和5年度　各自治会の意見を参考にしながら、ポスティング導入を検討しました。

令和6年度から希望する自治会（19自治会※）を対象に、ポスティングを開始

※【<u>令和7年度対象象自治会</u>】（24自治会）
町屋・店屋場・神山・茶屋・河内・中丸・中央・仲町・新松田・谷戸・中沢・沢尻・谷津・宮前・かなん沢・中里・仲町屋・弥勒寺・中山・土佐原・宇津茂・大寺宮地・虫沢田代・湯の沢

4. 人財バンク制度を創設！

○人財バンクとは・・・

松田町自治基本条例に規定している「まちづくり」の基本原則である「情報共有の原則」と「参加の原則」に資するため、芸術・文化・スポーツや趣味等のいろいろな活動において、知識や技術等をお持ちの方（個人・団体）を登録（現在26者・団体）し、その知識や技術等を必要とされる方（個人・団体）と繋ぐことで活躍の場を整え、相互の人材育成と生活向上を図る制度です。

（写真はイメージです）

※詳しくは町ホームページ

詳細はコチラ↑

または生涯学習推進課（電話83－7021）まで

《戦略1》 コミュニティ活動

5. 防災・防犯対策を推進します！

防災力の強化
【防災資機材等整備事業　１，４５５万円】拡大

■災害時用非常食、保存水等の必要な備蓄量を確保。老朽化した防災倉庫の更新、寄小学校体育館へ大型発電機を整備し非常時の対応を強化。
■訓練用のＡＥＤ購入による防災訓練の充実。

AED訓練

自主防災資機材倉庫

大型発電機

消防車両の更新
令和７年度は第４分団へ

■普通自動車免許で運転できる車両総重量が制限されたため、若年層の消防団員でも運転可能な車両を購入し、初期消火や林野火災及び風水害に即応する。

車両のイメージ

能登半島地震でも証明済！

■感震ブレーカーの無償配布（継続）令和３年度～
■火災警報器の無償配布（継続）令和５年度～
※条件や数の制限があります

感震ブレーカー

火災報知器

レインウェアの更新（令和７年度～）
【消防団運営事業　２，０８５万円】

■地域の安全と安心を守るために活動している消防団の諸手当や活動に必要な物品の経費を計上。特に、機能強化と魅力化のため、レインウエアを更新。

夜間にも対応するため高視認性のものを購入

《戦略１》防災・防犯対策

自転車用ヘルメット購入補助金（令和6年度～）

■交通事故時の死傷率の低下ため着用の推進を図る。（継続）

上限２千円
先着１００名

事故なんて
起こさんよ！

被っておけば
よかった！

防犯カメラ設置事業（平成25年度～）

■防犯カメラを設置して町の犯罪を抑止して、生活の安心を増進する。

新設２か所
交換１か所

※令和７年度

証拠撮影
してます！

ざまあみろ！
へへーん！

《戦略1》 防災・防犯対策

防犯対策用ドアホン設置補助金（令和7年度～）

■高齢者を狙った詐欺や悪質な訪問販売などに伴う犯罪を抑止するため、録画機能付きドアホンを設置し防犯を図る。（新規）
※補助率・年齢条件があります

上限５千円
先着３００世帯

災害協定を締結しています

■安全安心のまちづくりの推進のため、自治体や企業等との相互の連携を強化する災害協定の締結を実施。
※現在、63団体との協定を締結済み

＜令和7年度に締結した団体＞

㈱ACSL
ドローンを活用した災害時における支援活動等に関する協定

湘南ケーブルネットワーク㈱
防災や防犯等に関する情報をデータ放送などを通じて町民へ情報発信する協定

災害時の避難所環境の向上を図ります

■内閣府の新しい地方経済・生活環境創生交付金（地域防災緊急整備型）を活用し、避難所となる小学校等の設備の充実などを進めています。

① 食事環境の充実

松田小学校を災害時のセントラルキッチンとして炊事能力を強化し、各避難所へ温食を配布できる体制を整備予定。平時は給食用設備などとして活用します。

→（購入する資機材）
炊飯設備２台、洗米機１台、
食料運搬車１台、冷凍庫１台
ほか

② 衛生環境の充実

災害時の衛生環境を向上させるため、移動可能な簡易トイレ・シャワーを購入予定。平時は寄テニスコートに設置し、テニスコートの利用者に提供します。

→（購入する資機材）
簡易トイレ４台、トイレカー１台、
シャワートレーラー１台

③ 電気設備の充実

停電時の非常電源として活用できる非常用電源及び電気自動車並びに避難所用の冷暖房機器等を購入予定。平時は、公用車として、また学校施設備品として活用します。

→（購入する資機材）
大容量ポータブル電源２台、
電気自動車（PHEV）１台、
スポットクーラー15台、
灯油ストーブ15台　ほか

6. デジタル技術を活用した高齢者等の見守り活動を展開します！

緊急時の通報装置や遠方にお住まいのご家族との双方向のコミュニケーションを可能にするロボットなどの見守り用ＩＣＴ機器を貸与するなど、デジタルを活用した安心をお届けしています。

①高齢者見守りサポート事業

令和７年度予算：１，１８８千円　利用件数13件

②高齢者見守りコミュニケーションロボット

令和７年度予算：５３５千円　利用件数３件

※ご利用には一部条件があります。

詳しくは、福祉課までお問い合わせください。

★高齢者等のエアコン設置を支援します！

エアコン購入設置費等を補助することで、熱中症発症を予防し、安心安全な生活の維持を図 ります。本事業は令和６年度から開始してます。

【対象】 次の要件をすべて満たす方（世帯）

- 自宅にエアコンがない、または、故障により使用できるエアコンがない世帯
- 65歳以上の高齢者を含む世帯
- 世帯全員が市町村民税非課税・均等割のみ課税の世帯

※生活保護世帯にあっては一部条件あり

【補助額】

- 80,000円（助成上限額） ※処分費、配線工事も対象

～**<u>購入前の申請が必要</u>**です。詳しくは、福祉課までお問い合わせください～

【補助金の交付状況】

- 令和６年度予算：２，４００千円　支給実績：８００千円　利用件数：１０件
- 令和７年度予算：８００千円　　支給実績：　　０千円　利用件数：　０件

7. 行政サービス等のデジタル化を推進！

「松田町デジタルファースト推進協議会」設立
（令和5年6月9日）

※上記は自治体DXで取り組むべき重点取組事項

来庁者の手続き・庁舎内の事務手続きについて
デジタル化すべき案件をさらに協議します！

→デジタルによる恩恵を受けられる社会の実現
《戦略1》 デジタル技術の活用

引っ越しワンストップサービス
（令和5年2月～）

AIを活用した健康測定
（令和6年度～）

やどみやボールパーク
予約サイトオープン
（令和6年度～）

Ⅱ 戦略２
新松田駅・松田駅周辺のまちづくり

【目的】

新松田駅・松田駅周辺のポテンシャルを活用し、駅周辺整備に重点的に取り組むとともに、商店街の活性化や住環境の形成を図り、松田町の魅力をさらに高めることで、地域の活性化や定住促進につなげ、新松田駅・松田駅を中心にコンパクトで住みよいまちづくりを推進するものです。

1. 賑わい・活力を向上させる最重要施策

《 駅は町の顔 》　～松田町民における積年の夢の実現に向けて～

駅周辺整備事業の変遷

〈平成２５～令和３年度〉【決算：5,476万円】

- 新松田駅北口周辺整備検討調査を実施
- 駅周辺地域まちづくり協議会設立（課題・方針整理）
- パブリックコメントの実施、地権者等における意見交換会・懇談会の開催
- 「新松田駅周辺整備基本構想・基本計画」の策定（令和30年度）
- 「立地適正化計画」策定（令和元年度）
- 「新松田駅周辺整備基金」設置（令和元年度）
- 小田急電鉄株式会社と「自由通路整備及び橋上駅舎化の調査設計」に関する協定書締結

《戦略2》 駅周辺整備

〈令和４年度〉　【決算：3,744万円】

・再開発準備組合設立に向けた地権者検討会の運営支援
・駅前広場等公共施設の機能規模の検討
・都市計画決定に関する関係機関との協議
・警察との交通協議

〈令和５年度〉　【決算：3,938万円】

・新松田駅北口周辺地域地権者検討会の開催
・新松田駅北口地区市街地再開発準備組合が設立
・事業協力者を選定し、(株)マリモに決定

〈令和６年度〉　【決算見込：3,566万円】

・施設建築物などの基本計画案の作成
・駅前広場などの基本設計
・都市計画決定に係る図書の作成
・再開発準備組合の活動支援

《戦略2》 駅周辺整備

〈令和７年度〉　【予算：4,969万円】

- ●施設建築物、資金計画、権利変換モデルなどの基本計画案の作成
- ●都市計画決定に係る図書の作成
- ●再開発準備組合の活動支援
- ●駅前広場、道路、デッキなどの基本設計
- ●新松田駅北口橋上改札設置の調査検討

※令和7年度末時点

新松田駅周辺整備基金

約10.1億円を積立予定

■都市計画決定のスケジュール

2. 協議会でまちづくりの課題と方針を整理

【駅周辺まちづくりの課題】

- 通勤通学時の歩行者、送迎車両、路線バス等による交通混雑が生じているため駅前の歩行者等の安全確保が必要
- 「県西地域北部の交通の玄関口」にふさわしい魅力的な顔づくりが必要
- 主要な生活道路における円滑かつ安全な交通処理が必要
- 駅に近い利便性を活かした定住の促進
- 駅周辺の未利用地の活用

【まちづくりの方針】

【将来像】

足柄上地域の玄関口
賑わい・活力を生み出す
まちづくりの実現

①交流・活力を促進する交通拠点の形成
②魅力・賑わいの創出
③安全・安心なまちの形成
④環境・景観に配慮し、
　地域資源を活かしたまちづくり
⑤ITの高度化に対応した施策の展開

《戦略2》 駅周辺整備

3. 駅前広場周辺の将来像

新松田駅の
橋上駅舎化・
南北自由通路

ロマンス通り
（町道3号線）
の拡幅

集約施設・
立体駐車場の整備

JR御殿場線ガード下
（県道711号）
の拡幅

駅前広場の整備
（歩行空間、多目的空間
の確保・渋滞緩和等）

※建物の位置や規模についてはイメージであり、詳細は今後の検討により決定します。

《戦略2》 駅周辺整備

屋上広場
・展望デッキの整備

住宅施設の整備

子育て支援施設等
の公益施設の整備

商業・業務施設の
整備

デッキの整備
（歩行者の安全性
・回遊性の確保）

※建物の位置や規模についてはイメージであり、詳細は今後の検討により決定します。

《戦略2》 駅周辺整備

新松田駅北口地区市街地整備事業の整備イメージ

＊本資料は令和7年7月16日時点における整備イメージです。
＊この計画案は確定したものではありません。

《戦略2》 駅周辺整備

新松田駅北口地区市街地整備事業の整備イメージ

＊この計画案は確定したものではありません。
今後も検討・協議を重ねて変更が生じます。

南　街　区

北　街　区

公益系施設

〔考えられる施設案〕
- 福祉健康施設、子育て支援施設
- 新しい図書館（情報発信、交流の場として）
- 窓口サービスセンター
- 観光案内施設

その他・・・

住宅施設

- 地権者の権利床住戸
- 分譲住宅
  参加組合員（デベロッパー）が保留床を取得し、分譲事業を行うファミリータイプ中心型の住宅

住　宅

商業・業務・公益施設

駐車場

道路

商業・業務・公益施設

通路

自走式駐車場

商業系施設

〔考えられる施設案〕
- 地権者の権利床店舗
- スーパーマーケット、ドラッグストア、コンビニエンスストア等地元の買い物利便性を高める日用品物販店
- 買物を楽しめる専門店等（衣服、本、CD等）
- カフェ、ファーストフード等の飲食店
- スポーツクラブ、クリニックモール等健康施設

その他・・・

業務系施設

オフィス、金融機関

駐車場

- 店舗等お客さん用駐車場
- 住宅駐車場

その他・・・
駅前広場利用者の待機スペース

11 住み続けられるまちづくりを

《戦略2》 駅周辺整備

新松田駅北口地区市街地整備事業の費用について

総事業費　約126.7億円

③ 橋上駅舎(橋上改札)整備費　約１.９億円

町　１００％

町負担額
約１.９億円

② 駅前広場整備費30.1億円

国　５０％

国負担額
約15.05億円

町　５０％

町負担額
約15.05億円

① 集約施設整備費約　86.9億円

保留床・権利床
ビル整備費等
約54.4億円

再開発事業補助金
約32.5億円

国 約50%

地方 約50%

県 約20%

町 約30%

国負担額
約16.3億円

県負担額
約6.2億円

町負担額
約10.0億円

④ 公益施設整備費　約７.８億円

国　５０％

町　５０％

国負担額
約３.９億円

町負担額
約３.９億円

町負担額　計
約30．85億円

約30.85億円の内訳

一般財源	0.00億円
積立基金からの繰入	10.07億円
起債	20.78億円
計	30.85億円

《戦略2》駅周辺整備

＊この資金計画案は試算であり確定したものではありません。今後も検討・協議を重ねて変更が生じます。

駅周辺整備のスケジュール

事業内容		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度
都市計画事務		基本構想 基本計	関係機関協議 ・地権者意向調査 ・事業協力者等意向調査			都市計画法手続 ・関係機関協議　・素案作成 ・都市計画審議会の開催 ・公聴会の開催 ・案の作成　・都市計画決定										
駅前広場関係	北口		再開発事業に関する勉強会		現地測量	関係機関協議 ・基本計画・設計 ・鉄道事業者協議		都市計画法手続 ・関係機関協議 ・案の作成	基本・実施設計			工事期間				
	南口	事業中												北口広場・自由通路に関連する工事（4年）		
集約施設			再開発事業に関する勉強会		現地	地権者検討会	再開発準備組合 ・事業計画の策定 ・都市計画法手続		再開発組合準備組合、再開発組合 ・施設建築物の基本・実施設計			工事期間				
鉄道関係	小田急		事前協議	自由通路 駅舎駅舎改修 概略設計		駅前広場・都市計画法手続 ・関連用地等調整・協議 ・都決に伴う協定の締結			自由通路・橋上駅舎 ・基本計画・基本設計 ・基本協定の締結				実施協定締結 ・実施設計	工事期間（4年）		
	JR		再開発事業に関する協議			駅前広場・都市計画法手続 ・関連用地等調整・協議 ・都決に伴う協定の締結			南北自由通路・駅舎改修 ・基本計画				南北自由通路 ・基本設計・実施設計			工事期間

《戦略2》 駅周辺整備

4. 新松田駅南口へのエレベーター設置を推進します！

現在、小田急電鉄㈱様と
新松田駅南口における
エレベーター設置に向け、
協議を進めています。

令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和10年度
小田急電鉄㈱へ実施設計委託 →		エレベーター設置工事 →	

《戦略2》 駅周辺整備

5. 持続可能な交通サービスを確保するため 地域公共交通対策を推進します！

●新たな交通施策の検討

【令和３年度】

・ＡＩオンデマンド交通の導入等を想定した事業計画（素案）を作成

【令和４年度】

・既存の交通サービスと新たな交通サービスを総動員し、将来にわたり地域住民の移動の足を確保することができるよう、地域公共交通計画を策定するための調査等を実施

・地域公共交通計画の策定過程において、地域に求められる新たな交通施策（ＡＩオンデマンド交通等）の在り方をさらに精査

【令和５年度】

・地域公共交通計画策定

・ＡＩオンデマンド交通の実証実験スタート（10月23日）

【令和６年度】

・12月に開成町への運行を開始、併せて運賃改定を実施

【令和７年度】

・山北町への運行エリア拡充等を予定

・３年間の実証実験の最終年度⇒地域にあった公共交通を模索

ＡＩオンデマンドバス「のるーと足柄」

【現在の主な町交通施策】

（１）バス路線の増発や枝線の乗り入れ運行に対する補助

（２）バス通学定期券や高齢者バス定期券購入費への助成

（３）高齢者及び妊産婦のＡＩオンデマンドバス等利用促進業務に対する助成

《戦略2》 新たな交通施策

6. 買い物環境を向上させる取組みを推進しています！

移動販売事業（平成２８年度～）

●平成28年度開始した移動スーパー「くるまつくん」の運行支援を実施しています。
くるまつくんは年末年始を除く毎週平日5日運行しています。

搭載商品数　800点以上　令和６年度実績：稼働日数254日　町内利用人数8,030人（延べ）

「まつだショッピングサポートガイド」の発行（令和６年度）

●令和５年度の松田町買い物環境向上協議会から町への提言を受け、町内で利用できる配達や送迎といった、日常のお買い物を支援するサービスを掲載した「まつだショッピングサポートガイド」を作成しました。

松田町買い物環境向上協議会からの提言（抜粋）

○移動販売事業（くるまつくん）の営業継続

○町の買い物に係る町施策及び民間サービスについて、町ホームページやチラシ等のツールを用いた町民への周知

《戦略2》 買い物弱者支援

7.「まつだ移住相談所」を設置し、移住促進に取り組んでいます！

少子高齢化を受け、人口減少・空き家増加の問題に直面。
⇒解決策として、移住・定住施策実施のほか、シティプロモーションの強化を行い、社会増の実現を目指す！

定住人口維持のため、町民の皆さまや関係事業者の皆さま、役場職員で組織する**「まつだ移住相談所(R3年度)」**を設置！

ぜひご参加ください！

【具体的な取り組み】

・町への移住・定住を促進するために必要な取組みや、空き家等を活用した移住施策の検討を推進

・相談所では、今後、移住希望者からの移住相談に関する受付や、空き家等の所有者からの相談受付も実施

⇒移住希望者や空き家等の所有者、地域コミュニティの架け橋となるべく活動中！

松田町の移住・定住情報は、
各種SNS等で発信しています！
R6よりnoteの活用を開始し、松田町ならではの暮らしの様子を発信中！

Facebook　RareA　note

《戦略2》 移住・定住促進

8. 町内の空家と空地の利用を促進！！

●民間支援のバンク制度

○空き家物件の所有者と利用希望者をマッチングし、空き家や空き地の利活用を促進

○平成26年度に宅建協会と協定※を結んだ結果、登録・成約件数は大幅に増加

○戸建タイプの空き家への入居希望が多いため、空き家バンクの掲載物件へ入居する方で、一定の要件を満たす場合、家賃の一部補助

○令和4年度から、学生向けの入居支援を開始

《参考》 ※協定締結前（H25年度末）
延べ登録件数　8件

⇒令和7年5月末現在
延べ登録件数175件（空き地16件を含む）
延べ成約件数 65件（H19制度創設～）
※町内の空家件数　123件(R6年度調査結果)

★空き家の改修・解体に補助

○令和5年度より、空き家改修・解体への補助を開始

＜空き家改修＞

○空き家に居住するための改修を行う方に対して、（改修費用の2分の1：上限）20万円（改修事業者が松田町商工振興会会員の場合は、30万円）を補助

○対象となる改修は…
・部屋、台所、風呂、トイレの改修
・屋根、柱、外壁の改修
・電気、ガス、水道に係る改修　など

＜空き家解体＞

●空き家の解体工事への補助
（費用の2分の1：上限50万円）

●令和6年度から、さがみ信用金庫・全国保証との間に「空き家対策専用住宅ローン」の協定を締結。

《戦略2》 移住・定住促進（空家空地の利活用）

9. 移住・定住促進施策を加速化！

移住定住促進を図るため、「住まい」に関わる各種補助制度を通じて、松田町での暮らしをスタートする子育て世帯や若年世帯を支援しています。

～町の支援制度～

- ●民間賃貸住宅家賃補助金
  最大１２万円(月１万)
  学生さんは月２万(最大学生期間中)
- ●住宅取得促進奨励金
  一律１０万円
- ●二世帯同居等支援奨励金
  同居３０万円・近居２０万円
- ●結婚新生活支援補助金
  賃貸費用などに　１５万円
- ●ふるさと松田同窓会助成金
  出席者１人あたり　2,000円

移住定住特設サイトやSNSで定期的な情報発信を行っているほか、各種支援制度の情報をまとめたチラシを作成し、大規模移住イベント等で配布を行っています。

●<u>寄地区定住促進奨励金（予算1,100万円）</u>

＜補助制度の概要＞

①　寄地区に住居を取得又は寄地区内の実家にUターンした方
②　子育て世帯又は若年夫婦世帯の方

⇒①②の該当者に対し、１件あたり<u>50万円</u>を支給(基本額)。
また、世帯員で子ども(小学生以下)がいた場合は、
１人あたり<u>30万円</u>を加算。

《戦略2》 移住・定住促進

10. 寄地区の活性化につながる取組みを推進します！

寄地区活性化協議会の設置

【設置目的】

寄地区の持続可能な地域づくりを推進するため、地域が抱える人口減少等による社会課題の解決や地域活性化に向けた取組み等を協議することを目的に設置し、施策の提案や検証を行います。

【内容】

○令和５年度
４回にわたる会議と町民参加型のワークショップを開催
令和６年２月20日、山梨県小菅村への視察を実施。

○令和６年度
地域の拠点である「寄自然休養村管理センター」
に関する議論を中心に行いました。

○令和７年度
施策の進捗状況の確認や情報提供などを行っていきます。

11. スポーツツーリズム推進拠点整備事業
（当初予算額：３億７，４２１万円）

スポーツツーリズム推進のため、寄自然休養村管理センターをリニューアルし、併せて、周辺施設の受け入れ環境（駐車場、トイレ、フェンスなど）の整備と誘客活動を実施します。

●寄自然休養村管理センター改修工事
●寄みやまグラウンド（トイレほか）改修工事
●市民農園駐車場（２６０台分）整備工事
●各ソフト事業の実施（誘客・宣伝など）

←現在の
寄自然休養村管理センター

人工芝生化した→
寄みやまグラウンド

人工芝生化後、利用者数は７倍！
収入額は６．５倍に！

<みやまグラウンド利用実績>

	Ｒ６	Ｒ７
４・５月利用者数（人）	349	2,521
４・５月収入額（円）	122,100	799,700

観光スポーツ施設整備事業

●寄みやまグラウンドナイター照明改修工事（ＬＥＤ化）
●寄みやまグラウンドバスケットゴール購入

《戦略2》 移住･定住促進

★事業費と財源内訳について

・スポーツツーリズム推進拠点整備事業

【事業費と財源内訳（５月末時点での見込）】

事業費＝３３８，６８６，０００円

内訳　１６９，３４２，０００円（新しい地方経済・生活環境創生交付金）
　　２５，２６４，０００円（神奈川県自治基盤強化総合補助金）
　　１１９，７００，０００円（地方債：町負担）
　　２４，３８０，０００円（その他：町負担（特定目的基金等））

・観光スポーツ施設整備事業

【事業費と財源内訳（５月末時点での見込）】

事業費＝３５，５２５，０００円

内訳　１６，８４８，０００円（スポーツ振興くじ助成金）
　　６，３８９，０００円（神奈川県自治基盤強化総合補助金）
　　７，０００，０００円（地方債：町負担）
　　５，２８８，０００円（その他：町負担（特定目的基金等））

Ⅱ 戦略３
地域資源のブランド化

【目的】

　松田町が有する豊かな自然環境や農林業環境などの地域資源を活用したまちづくりを重点的に進め、松田山や地域の文化・伝統芸能などの自然・歴史資源、農産物や木質バイオマス資源などの農林業資源を活かしブランド化を図ることで、文化継承や観光振興などの地域の活性化に寄与し、松田町の強みを未来につなぐものです。

1.「松田ブランド」認定事業
町産品のブランディング・販売促進

魅力あふれる町産品（お茶やみかんを活用した商品など）を「松田ブランド」として認定。認定品を通じて町の魅力を全国へ発信する事業を実施。平成27年度に始まり、現在 7 品を認定。
「まつだ桜まつり」や「ロウバイまつり」などのイベントやふるさと納税の返礼品として、広くPR活動を行っています。

《戦略3》 松田ブランド

2. 捕獲した有害獣を有効活用
～食肉加工品（ジビエ）へ～

町では、野生鳥獣（シカ・イノシシ）の有効活用を図ることで捕獲者の意欲を向上させ、持続可能な捕獲体制を確保するため、足柄上郡５町とJAかながわ西湘と連携・協力して、令和４年度にジビエ処理加工施設を整備。令和５年10月からジビエ処理加工施設「あしがらジビエ工房」の運営を開始。

令和７年１月、ジビエ普及・食育を推進するため、<u>寄小学校の給食においてジビエカレーを提供</u>。 より安全・安心なジビエを提供するため、毎年、ジビエ処理加工施設を利用される方を対象に、捕獲した野生鳥獣の処理方法習得に向けた講習会を実施しています。

★クマ対策にも取り組みます！

（１）クマ撃退スプレー購入補助

農作業中にクマと遭遇して、襲われた場合に身を守るための「クマ撃退スプレー」の購入費用を補助します。

※スプレー購入費用の2分の1：上限5,000円

（２）放任果樹伐採補助

集落等の地域へのツキノワグマ出没を防ぐため、地域内にあるツキノワグマを誘引してしまう管理されていない放任された果樹の伐採費用を町が補助します

※補助額：上限30，000円（1本あたり）

※補助条件などの詳細は、観光経済課（電話83-1228）まで

※写真はイメージです

3. 地域資源を新たな再生可能エネルギーへ

●森の地域資源を活用

本町は、水源林をはじめとする森林が豊かである一方、近年は維持・保全が困難に。

この森から発生する木質バイオマス（未利用のまま放置されている間伐材）を、再生可能エネルギーとして利用することで、環境保全・向上、防災・減災、地域の活性化との相乗効果を！

●間伐材等を薪燃料として供給

NPO法人 仂（ロク）による
薪の製造と供給

●「健楽の湯」の薪ボイラーで活用

※化石燃料の使用量を削減し、二酸化炭素の排出量を抑制　⇒二酸化炭素排出量（19.1t/年）削減

《戦略3》 再生可能エネルギー

4. シティプロモーションを推進中！

町紹介動画はコチラ↑

○事業目的

・町の魅力を広く内外に各種媒体を通じ発信することで、町への関心を持ってもらい「交流人口・関係人口」のほか、移住者を呼び込み、地域活性化を図ることや、町の認知度向上を目的としています。

○事業概要

・町の紹介動画（PV）の制作及び放映　～動画は町公式サイトで公開中！～
・移住等検討者に向けた町の施策（各種補助制度）の紹介
・ふるさと納税等を通じた町特産品のPR
・町のイベント紹介　など

松田町をイメージした楽曲と
ドローンによる空撮動画で構成

○令和３～４年度

・新聞や雑誌などの広告媒体のほか、WEBやSNS(FacebookやInstagram)を利用し、都市部に向けた町のプロモーションを実施。また、西平畑公園のイメージソングの制作やドローン画像に町内の作曲家による楽曲をのせた町シティプロモーション動画(松田編・寄編)の作成などにも取り組みました。

○令和５～6年度

・タウンニュースWEBサイト(レアリア)でのPRや紙面などの媒体を活用した情報発信を継続実施するほか、松田町の地域情報を掲載した「ガイドブックの作成」にも取り組み、イベントやフェア等で配布し、町の魅力を多くの方に発信しました。

○令和7年度

・ WEBやSNS(FacebookやInstagram)での情報発信の他、都心部（ふるさと回帰支援センター、羽田空港など）でのイベント出展機会を増やし、町産品や町事業の情報を積極的にPRしていきます。

5. 持続可能な松田山の活性化を！「松田山活性化検討協議会」

町では西平畑公園及び松田山ハーブガーデンへの指定管理者制度の導入（令和5年7月～）など、民間活力の活用による松田山の活性化に取り組んでいます。

また、農地や森林と調和のとれた松田山の自然環境や眺望において、今後の松田山における農地や山林等の保全・利活用を地権者等と協議し、実現可能な方向性を検討するとともに、その上で、短期・長期的な展望に立ち、松田山の目指すべき将来像を見出し、実行する計画を立てることを目的として、令和5年度から松田山活性化検討協議会を設置し、次の項目について協議を実施しました。

①西平畑公園周辺の整備について　②観光農園の整備
③交通アクセス　④松田山南斜面の果樹庭園化

令和7年度は、令和5年度からの協議内容を踏まえた事業の実現に向けた計画の策定に取り組むほか、土地の地権者のご意見を取り入れながら、美しい松田の自然を未来に引き継ぎ、さらに発展させていくため、既成概念にとらわれない大きな夢を一緒に描きましょう。

《戦略3》 松田山活性化

6. 地域経済の活性化を目的として
スポーツツーリズムによる関係人口の創出を図ります！

●「まつだスポーツコミッション」事業を展開します！

「まつだスポーツコミッション」の周知を進め、スポーツと観光を資源とし「スポーツツーリズム」として地域に人を呼び込み、関係人口を創出することで、地域の賑わいや地域経済の活性化を図ります。

●事業計画（令和7年度）

①サイクルツーリズムの基盤づくり

「サイクリングコースを設定し、サイクリスト、インバウンド観光客を取り込んでいきます。

②みやまグラウンドへのイベント・合宿誘致

「みやまグラウンド」を起点にイベントや合宿、大会を誘致することで関係者の来訪に繋げ、寄地区の地域経済（雇用）の創出や活性化を促進します。

③松田クライミングフェスティバルのモデル大会開催

「スポーツクライミングフェスティバル」の開催に併せ、ヒアリング・アンケート調査を実施し、今後の来訪者の増加から地域活性化に繋げます。

④ジビエを利用したアスリート向け栄養補助食品・疲労回復飯の試作品開発

ジビエ肉を活用した栄養補助食品やレシピの開発し、販路開拓、地域ブランド化により、収入源の確保から地域経済の向上を図ります。

⑤「まつだスポーツコミッション」における人材育成及び組織力強化

関係人口の増加から経済創出、雇用創出及び定住、移住者の確保まで広い視野により推進するため、環境整備及び人材育成を進め、持続可能な組織として確立します。

7. 安全に楽しく遊べる公園・安心して遊ばせられる公園の整備を推進します！

これまでの町政懇話会や子どもカフェで子どもたちからの「安全に楽しく遊べる公園がほしい！」という声や、子育て世代からの「安心して遊ばせることができる公園を整備してほしい！」という声のほか、憩いの場所としてのニーズ等、多世代から「公園を利用しやすくしてほしい」という意見を数多くいただいているため、計画的な公園整備を推進します。

●令和７年度は遊具塗装を行います

各公園の遊具をキレイに・可愛く塗装することで、より一層、行きたい・遊びたいと感じてもらえるような公園にします。

作業にご協力いただける方
募集しています！！

《戦略3》 公園等の整備・維持管理

Ⅱ 戦略４
次代の育成・女性活躍・高齢者活躍の場づくり

【目的】

多様な分野・主体と連携しながら、次代を担う子どもたちが健やかに育ち、女性が輝き活躍するまちづくりと高齢者等が生きがいをもって日常的に交流できる居場所づくりに取り組むことで、町民一人ひとりが町に愛着をもち、活躍できる「人づくり」につなげ、松田町への定住促進と協働によるまちづくりを推進するものです。

1. 教育施設のリニューアルを進めます！（その1）

●松田中学校
大規模改修工事が完了

松田中学校は昭和46年に建設され、令和7年3月で建築55年を迎え、老朽化が目立ってきていました。

【事業経過】

令和4年度⇒設計　令和5年度⇒外部工事

令和6年度⇒内部工事　床・壁・天井等の改修工事

改修後の
松田中学校校舎

●松田中学校
令和7年度はグラウンド改修

松田中学校は令和7年度にグラウンドの改修工事を実施します。

水捌け等のグラウンドの整備のほか、砂を風で飛びにくい砂とすることや、スプリンクラーの設置を行い、乾燥時の砂の飛散を軽減させる改修工事を実施する予定です。

《戦略4》 松田中学校整備ほか

1. 教育施設のリニューアルを進めます！（その2）

●松田小学校（令和7年度）
体育館に空調設備の設置工事を実施！

令和3年度に竣工した松田小学校は、児童の学習・生活の場でありますが、災害時には体育館が避難所として活用されます。

避難所機能を強化し耐災害性の向上を図るため、令和4年度、5年度と2か年で太陽光発電設備を設置しましたが、令和7年度は体育館に空調設備の設置工事を実施し、児童の学習環境はもとより、避難所機能の更なる増強を図ります。

松田小学校体育館

●寄小学校（令和7年度）
大規模改修工事を実施！

寄小学校は昭和50年に建設され、令和6年3月で建築49年を迎え、老朽化が目立ってきています。

子どもたちに、より良い学習環境で学びを深めてもらえるよう、大規模改修工事を実施します！

寄小学校

【事業予定】

令和6年度⇒調査・設計

令和7年度⇒改修工事

・外壁、屋上防水、外部建具、空調設置（特別教室等）、内部工事　等

《戦略4》 松田中学校整備ほか

1. 教育施設のリニューアルを進めます！（その3）

●松田幼稚園
大規模改修工事が完了

平成元年度に建設され、建設35年を迎えた松田幼稚園園舎も令和5年度に設計を実施。
令和6年度に内装と外装の改修工事を実施しました。

松田幼稚園園舎

●寄幼稚園
スロープ屋根設置工事を実施！

昭和59年2月に建設された寄幼稚園園舎も令和6年度は屋根改修工事を実施しました。
令和7年度は園舎からグラウンドへ続くスロープに屋根を設置する工事を実施予定です。

寄幼稚園

《戦略4》 松田中学校整備ほか

2. 松田独自の教育施策を展開しています！（その1）

●寺子屋まつだ

月2回の土曜日と、夏休みなどの長期休暇時を併せて年間約40回にわたり、子どもたちを対象にさまざまな学習機会を提供し、学ぶ意欲の向上や豊かな人間性の育成を図り、地域ぐるみで子どもの育ちや学習をサポートする仕組みづくりを構築しています。

●充実した英語教育

・小・中学生を対象に英語検定の受験料を一人につき年1回全額補助します。
（実質自己負担『0」）
・小・中学校だけでなく幼稚園にもALTを配置（保育園には派遣）し、幼児期から英語に触れることのできる環境を整備。
・中学校ではオンライン英会話事業を実施。

●スーパーキッズ育成団体助成金

町内の小学生が所属しているスポーツ・文化団体を対象に団体への継続的な活動支援として経費の一部を助成します。

2. 松田独自の教育施策を展開しています！（その2）

●放課後子ども教室

松田・寄両小学校で、放課後の時間帯に校庭や体育館などで、地域の大人の見守りのもと、子どもたちが安心して活動できる居場所づくりを図るとともに、子どもたちの社会性及び創造性等の育みができるよう場を提供しています。（年間20回程度開催）

●給食費保護者負担軽減措置補助

幼・小・中学校給食費の保護者負担の軽減を図るため、定額補助をしています。

令和7年度は、補助を拡充し、小・中学校は給食費を実質**無償化**。幼稚園についても、200円/月を1,300円/月の補助額としています。

●松田中学校就学準備助成金

松田中制服（ブレザー）が、物価高騰の影響により値上がりしたことから、令和７年度に中学校へ入学する子を持つ保護者に対し、購入費用の一部（4,000円）を助成しています。

●未来トップランナー育成・応援助成

文化、スポーツ活動で活躍する中・高校生（トップランナー）の活動費を一部助成します。　＊要審査

3. 未来へつなぐ学びの環境を！

●英語教育の充実

令和5年3月、松田町とフィリピン共和国のダラグエテ市との間で、交流推進に関する覚書を締結しました。フィリピンでは、英語を公用語とし、第2言語として幼い頃から英語を学んでおり、**高い英語力と英語教育のノウハウを持つ**ことから、令和5年度に2名、令和6年度に1名の方を雇用し、**現在5名体制に！！**

ALTとしての活動

・町立小・中学校
・町立幼稚園
・学童保育室

充実

園・学校以外の活動

英語検定補助も！

・英検集中講座
・イングリッシュカフェ
・寺子屋まつだ　　etc...

【R7新規事業】『使える英語力を！』オンライン英会話教育事業

現在の英語教育をベース（教科書と連動）としたマンツーマンのオンライン英会話レッスンを実施することにより、英語による実践的なコミュニケーション能力を伸ばし、「使える英語力」を身につけたグローバル人材を育成していきます！

オンラインで
現地講師と
英会話

●ICT教育の推進

タブレット端末ICT機器を活用し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた、個別最適化の学びに向けた学習環境を整備しています。

また、ICT機器を先生や生徒がスムーズに使えるようにサポートするICT支援員を配置しています。

4. グローバル社会で活躍できる人財を育成 ＆松田スタイルで国際交流

～持続可能な事業にしていくため、まちの資源、魅力を活かした国際交流を～

◇令和５年度

・「観光まつり」や「桜まつり」等の開催に併せ交流＆イベントを開催

◇令和６年度

・国際交流ボランティアを中心に各種ツアー等を開催。関係各所との連携強化。

◇令和７年度

・外国人観光客の受け入れ態勢整備として、各種イベント時の資料等を英文化。

《戦略4》 国際交流

5. 旧松田土木事務所で子育て＆就業支援＆健康増進を

●松田町創生推進拠点施設

　平成30年度に改修工事を行った旧松田土木事務所は、令和元年11月１日に複合施設としてグランドオープンしました。施設名称は、「芽、新芽、若葉」を意味する「sprout」、新芽がたくさん集まる場所「pocket」にしたいを組み合わせ、**sprout　pocket**　（略して**suprapo**（スプラポ））としました。

（１）名　　称　松田町創生推進拠点施設 “suprapo” （スプラポ）
（２）所 在 地　松田町松田惣領321番地1
（３）施設概要
　１階・・・生活支援機能
　　⇒ コインランドリー・スポーツジム等
　２階・・・子育て世帯の支援スペース
　　⇒ 子育て支援センター/ファミリー・サポート・センター

※子育て支援センターでは、就学前のお子さんと保護者の方を対象に、毎月１回程度「みんなであそぼう！」や年に数回子育てママのためのリフレッシュ講座の開催、月１回毎月第４土曜日の開所なども行っていますので、是非、ご利用ください。

※子ども食堂イベントも施設内で不定期で実施中。

6. 子育て支援センターでは楽しいイベントが盛りだくさん！

ぴよぴよひろばでは、デイサービス型の産後ケア事業（年６回）を開催

大型遊具

令和７年度は離乳食講座などの講座も開催！
ぜひ、ご利用ください！

みんなで聴こう！クリスマスコンサート

パパ・ママあつまれ
ベビーマッサージ

ママピラティス
身体リセットピラティス

《戦略4》 子育て支援

7. 松田の子育て支援 自慢のメニュー（その1）

●町独自の支援事業 《施行年度順》

令和 ⑦1か月児健康診査費用の助成（上限4,000円）

⑥不妊治療（先進医療）費助成金

～医療保険適用の体外受精等と併用して実施された先進医療に係る費用／1回の治療につき50,000円（上限）

⑤産後ケア応援助成金

～宿泊型サービス　1泊につき20,000円／デイケア1回につき5,000円

訪問型サービス　1回につき6,000円／家事等支援　1時間につき2,000円

④新生児聴覚検査費用の助成

～AABR　5,000円（上限）／OAE　3,000円（上限）

④出産サポートタクシー利用助成事業　1回上限10,000円

～妊産婦健診時、出産時の交通手段を確保し、受診時等の不安の解消及び安心安全な出産を支援する

③産婦健康診査費用の補助　～産後2カ月までの健康診査費用を2回まで助成（1回：5,000円）

②ファミリー・サポート・センター事業利用料金助成制度

～助成額：子ども1人につき月額3,500円（R4助成額拡大）を上限に助成（一時預かり相当分）

《戦略4》 子育て支援　※○で囲まれた数字は事業スタート年度を表しています

7. 松田の子育て支援 自慢のメニュー（その2）

●町独自の支援事業 《施行年度順》

平成 ㉚小児インフルエンザ予防接種費用助成事業

～6カ月児～中学生　予防接種1回につき1,000円助成

㉘不育症治療助成事業　～1治療期間ごとの医療費の1/2以内、1治療期間の限度額300,000円

㉕妊産婦歯科健康診査事業　～妊娠中1回及び産後1年以内1回　計2回の健診

㉑妊婦健康診査費用の補助　～定期的な健康診査費用を補助（券）14回分

【1回目：10,000円／2～14回目：5,000円上限】

⑯ブックスタート事業　～親子の心のふれあいに、絵本2冊を配付

⑫チャイルドシート購入補助制度　～中古を除く購入を補助（1/2）【上限5,000円】

☆給食費保護者負担軽減措置補助金　～幼・小・中学校給食費保護者負担に対する定額補助

補助金額：令和6年度まで　小・中学校　950円/月、幼稚園　200円/月

➡ 令和7年度　<u>小・中学校は実質無償『0』化</u>（小学校　5,600円/月、中学校　6,200円/月）

幼稚園も補助額を拡充（1,300円/月）

《戦略4》 子育て支援　※○で囲まれた数字は事業スタート年度を表しています

8. 高齢者活躍の場づくり

人生100年時代を迎え、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるため、高齢者の活躍の場づくりの一環として、次のような事業に取り組んでいます。

【シニアクラブ活動推進事業】

地区クラブの活動や育成に必要な財政的支援によりレクレーション活動の充実を図り、社会活動への参加を促進

【高齢者生きがい事業ほか】

シニアクラブやシルバー人材センターへの財政的支援や地区ふれあい会などの開催を通じた、社会参加の機会の確保

【地域支援事業】

認知症講演会や認知症カフェの開催、自主活動グループの支援など、福祉分野の社会認知度の向上や介護予防活動への支援

【地域サロンまつだ】

高齢者をはじめとした地域住民による居場所づくりとして開設

※詳しくは、福祉課まで

★関連団体やその取組み概要を次のページで紹介します！

関連団体とその取組み概要

いきいき元気の会	町の介護予防サポーター養成講座を修了した方々が立ち上げた自主グループです。介護予防を目的に運動指導や口腔体操の普及活動を行って頂いています。
おれんぢの会	物忘れが気になる方や初期認知症の方、その家族や地域の方がゆったり過ごせる場の提供や、町民の認知症理解を深める活動を行って頂いています。
フレイル予防サポーター	町民がフレイル（虚弱）になるのを防ぐために、フレイルチェック測定会の運営や啓発活動を行って頂いています。

シニアクラブ松田	地域の活性化に貢献する「人貧乏」するな！させるな！を合言葉に活動を展開し、種目別クラブ（パークゴルフやカーレット、コーラスなど計７クラブ）では毎月の活動を実施し、健康づくりや生きがいづくりの場となっています。
シルバー人材センター	健康で働く意欲を持った会員の方が豊かな経験と知識・技能を生かし、地域社会に貢献できることを心の潤いとして活動をしていただいています。

9. 町内で受けることができる介護サービス等は？

№	サービス種類	事業所名	住所	電話番号
1	住宅型有料老人ホーム	福寿まつだ神山	神山438-1	46-8718
2	介護老人福祉施設	特別養護老人ホーム　レストフルヴィレッジ	寄3090-1	88-2910
3	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	セントケアホームあしがら	松田庶子373-1	85-1071
		グループホーム　みやまの里	寄4165	89-2037
4	居宅介護支援	松田町社協　居宅介護支援サービス	松田惣領17-2	82-0305
		ケアマネまつだ	神山242-4　山田コーポ1-1	46-8703
		鶴巻訪問看護ステーションあしがら居宅介護支援センター	松田惣領1321-1	33-7800
5	地域密着型通所介護	ふらっと足柄	松田惣領1249	20-6610
		ケアセンター　レストフルヴィレッジ	寄3090-1	88-2910
		デイサービス　フェリース	松田惣領503	20-7913
6	通所介護	デイサービスセンター福寿まつだ神山	神山438-1	46-8718
7	通所型サービス	ふらっと足柄	松田惣領1249	20-6610
		ケアセンター　レストフルヴィレッジ	寄3090-1	88-2910
		デイサービス　フェリース	松田惣領503	20-7913
		デイサービスセンター福寿まつだ神山	神山438-1	46-8718
8	訪問介護	ARS訪問介護ステーション	松田惣領1249	82-8571
		訪問介護まつだ	松田惣領513　コーポえんどうⅡ-201	46-8758
		ニチイケアセンターあしがら	松田惣領1181-7　102号室	83-0501
9	訪問型サービス	ARS訪問介護ステーション	松田惣領1249	82-8571
		訪問介護まつだ	松田惣領513　コーポえんどうⅡ-201	46-8758
10	短期入所生活介護	レストフルヴィレッジ	寄3090-1	88-2910
11	訪問看護	鶴巻訪問看護ステーションあしがら	松田惣領1321-1	83-8200
12	小規模多機能型居宅介護	小規模多機能型居宅介護　まこさんち松田	松田惣領1951-1	20-8180

※松田町内には12のサービス種類と介護サービスを提供する23の事業所があります。

★高齢者の生活支援について

①６５歳以上の運転免許自主返納者への補助事業（令和７年度）

運転免許証を自主返納した６５歳以上の方の移動を支援するため、のるーと足柄やタクシーで利用できる１回５００円分のチケットにより補助を行います。

【補助】チケット最大６０枚、１回５００円

②高齢者等移動手段確保助成事業（令和６年度～）

７５歳以上の方及び妊産婦の移動手段を確保するため、のるーと足柄やタクシーで利用できる１回３００円分のチケットにより補助を行います。

【補助】チケット最大７２枚、１回３００円

【令和７年度予算】①②併せて３，６００千円

③価格高騰対策（令和７年度）

未だ止まらない物価の高騰より、その影響を受けやすい独居高齢者やひとり親に対し、生活費の支援として町限定の商品券５０００円分をお配りします。

【対象者】・７０歳以上の独居高齢者、１８歳以下の子がいるひとり親世帯

【予算額】２，９０１千円

④帯状疱疹定期予防接種の実施（令和７年度～）

令和７年度より帯状疱疹予防接種は定期接種となりました。

【対象者】・65歳の方、60～64歳の方でHIVによる免疫機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方

・70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳の方（令和７年４月１日～令和12年３月31日まで）

・100歳以上の方（令和７年４月１日～令和８年３月31日まで）

【自己負担金】生ワクチン（１回）・・・１回につき、3,000円

不活化ワクチン（２回）・・・１回につき、8,000円

令和７年度一般会計歳出予算の内

主に高齢者（65才以上）を対象とした事業 **5億4,652万円**

高齢者移動手段確保・敬老会・後期高齢者医療など

※グラフ内の（〇%）は構成比をしめしています

《戦略4》 高齢者活躍

10. 川音川パークゴルフ場で楽しく健康づくり

○心身の健康維持に最適

川音川パークゴルフ場はスポーツ振興くじ助成金を活用して１８ホールのコースに拡大して令和３年10月にオープンしました。

１８ホールをプレーすることで、約3,500歩、60分以上の運動を爽やかな芝生の上で楽しみながら行うことができます。貸出用のクラブやボールも用意しており、どなたでもプレーできるので、友人や家族と一緒に心身の健康維持にお役立てください。

○指定管理者はFITrain24松田の「M.R.J.株式会社」

川音川パークゴルフ場の管理を、令和５年４月からM.R.J.株式会社へ指定管理委託することになりました。

M.R.J.株式会社はスプラポのフィットネスジム「FITrain24松田」の経営等をされており、パークゴルフ場の管理にあたっては「楽しいが生き甲斐、笑顔の実現はここから」をコンセプトに、イベント企画等も検討されています。

11. ♪生涯学習センター大ホールで唄ってみませんか♫

カラオケボックスではちょっと味わえない雰囲気の中で気持ちよく歌ってみませんか？
町では、ホールをより一層活用していただけるよう、次のとおり貸し出しを行っています！

★30分＝1,000円/回で唄えます
（１回：何名様でも　30分＝約５曲）

★完全予約制

★その他留意事項
（１）ホール内は飲食禁止です（喉を潤すときはホワイエでお願いします。）
（２）飲酒後のご利用はできません

※原則的に使用日の３日前までにご連絡ください
（大ホールの使用状況により予約をお受けできない場合があります。）

★代表者が町外在住の場合は30分＝2,000円となります。

【予約先】教育委員会生涯学習推進課　0465-83-7021

12. 松田町・寄村合併70周年記念に向けて

令和6年度

- 合併記念事業準備委員会を組織し、ロゴマークやコンセプトの決定に加え、令和７年度に実施する記念事業の検討を行いました。
- プレイベントとして、民間企業との連携に基づく町民向けの取組み（NHKのど自慢の開催、ミュージカル公演の開催、横浜DeNAベイスターズ観戦招待など）を実施しました。
- 暮らしのガイドを発行しました。

記念ロゴマーク

令和7年度

- 各種記念事業の実施
  【具体例】6/14（土）記念式典の開催
  6/16~記念芋焼酎「710（ナナイチマル）」販売開始
  その他、既存のイベント開催事業等において連携
- 自主事業補助金の交付
  70周年の機運を高める取り組みに対し、対象経費の2/3（上限7万円）を交付

記念芋焼酎710

《戦略4》70周年記念

Ⅲ Sustainable Development Goals

〈SDGS〉 持続可能な開発目標

〈 理念 〉「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2015年９月の国連サミットで全会一致で採択された2030年を年限とする17の国際目標。（17のゴールの下に、169のターゲット、231の指標が決められている。）

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1 貧困をなくそう

2 飢餓をゼロに

3 すべての人に健康と福祉を

4 質の高い教育をみんなに

5 ジェンダー平等を実現しよう

6 安全な水とトイレを世界中に

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

8 働きがいも経済成長も

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

10 人や国の不平等をなくそう

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任つかう責任

13 気候変動に具体的な対策を

14 海の豊かさを守ろう

15 陸の豊かさも守ろう

16 平和と公正をすべての人に

17 パートナーシップで目標を達成しよう

１．松田町が令和３年度 “ＳＤＧｓ未来都市”に選定！

ＳＤＧｓ未来都市とは・・・

SDGsの理念に沿った基本的・総合的取組を推進しようとする都市・地域の中から、特に、経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域として内閣総理大臣が選定するもの。

県内では、３政令市と鎌倉市、小田原市のみ
町村では初の選定！
※R6.10.1内閣府公表

SDGs未来都市選定証

神奈川県松田町

貴町の提案は、我が国におけるSDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献する優れたものと認められますので、SDGsの達成に向けた今後の取組を期待し、ここに貴町がSDGs未来都市であることを証します

令和3年5月21日

内閣総理大臣 菅 義偉

そのほか

〇令和４年２月22日　県西地域２市８町で「プラごみゼロ共同宣言」を行いました！

→各市町共通での情報発信や環境教室の開催など、プラスチックごみの削減に向けた取組みを連携して実施します。

《SDGs》

２．ＣＯ2排出量を減らし地球温暖化対策
～今、私たちにできること①～

２０５０年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロに向けて
松田町ゼロカーボンシティ宣言（令和３年４月２０日）

○ごみの分別徹底や生ごみの堆肥化でごみの再資源化と減量を行う

→燃やすごみの量を減らすことで二酸化炭素排出量を削減

ご活用ください

- ●コンポスト容器やペットボトル圧縮機の無料配布
- ●資源ごみの拠点回収（スプラポに設置）
- ●リサイクル活動団体奨励金　●ごみ減量機の購入補助金

○太陽光などの再生可能エネルギーを積極的に活用する

→化石燃料からの脱却により二酸化炭素排出量を削減

ご活用ください

- ●スマートハウス整備促進補助金
  太陽光パネル、蓄電池、エコキュートなどの高効率給湯器
  Ｖ２Ｈ（ＥＶと住居の双方向給電機器）

３．美しい川の清流を維持し、流れ着く海を守る
～今、私たちにできること②～

○生活排水をきれいな状態にして川へ排出する

ご活用ください

●合併処理浄化槽転換補助金（※寄地区のみ対象）
単独処理浄化槽（トイレ排水のみ処理）から合併処理浄化槽（台所等を含んだ全ての排水を処理）への転換に対する補助金

○プラスチックごみを減らし、そのゴミが流れ着く海を守る

県西地域２市８町「プラごみゼロ共同宣言」

ご参加ください

●酒匂川クリーンキャンペーン
●丹沢大山クリーンキャンペーン

令和７年度の予定事業
●夏休み子ども環境教室
●さかなクンイベント

広域自治体（１市５町）にて
新可燃ごみ処理施設の整備を進めています

南足柄市内山地区（現南足柄市清掃工場敷地）に整備予定

事業費：約１９８億円（松田町負担分：約２０億７千万円）

スケジュール

令和７年度　　事業者の選定、契約の締結
令和８年度　　施設の設計
令和９～１１年度　　整備工事
令和１２年度　　供用開始

施設整備基本方針

・安心・安全な処理を行う施設
・環境に配慮した施設
・エネルギーを効率的に活用する施設
・地域に親しまれ、環境学習が行える施設
・経済性に優れた施設

３．ＳＤＧsの推進に関する取組みを宣言し、ともに取り組むパートナーを見つけませんか？

SDGｓパートナー支援システム

【概要】

松田町では、令和４年７月より松田町SDGｓ推進プラットフォームを運用しています。当サイトを通じて、SDGｓを共通言語とした様々な地域課題の解決に向けた地域活動に参加することが可能です。

●SDGｓ宣言のメリット

・取り組んでいる（取り組みたい）活動を広くPRすることが可能

・活動への参加者募集や宣言者同士のマッチング機会を得られる

ぜひＳＤＧｓ宣言をしてみてください！
ご利用は右のQRコードから！

◆◆◆ 令和７年度 ◆◆◆

第７次総合計画策定に
向けた
地域別タウンミーティング

本日はお忙しいところご参加いただき
誠にありがとうございました